

# 農業委員会だより

No.192

〒970-8026  
いわき市平字堂根町4-8  
TEL.0246(22)7534  
FAX.0246(22)7538

編集・発行 いわき市農業委員会



美味しいいちご実ってます



## 主な記事のご紹介

### 2ページ

- いわき市農林業賞

- がんばる農業者あの人この人  
高野泰成さん・芳江さん  
(鹿島町上蔵持)

### 3ページ

- 農地流動化情報
- 無断転用 知らずに  
やっていませんか？

### 5ページ

- 農作業労働賃金標準額

### 4ページ

- 今号の表紙から

### 6ページ

- 地区だより  
(平・内郷・好間地区)
- トピックス

# 令和3年度 いわき市農林業賞受賞者決定

いわき市の農林業の発展等に顕著な実績をあげられた農林業者等を表彰する「いわき市農林業賞」の令和3年度受賞者が決定しました。

小川町土地改良区の理事として地域における基盤整備を進めたほか、小川地域振興協議会の会長や近隣小学校の学習田運営を支える学校支援ボランティアとして地域の中心的な役割を担っている。

令和3年10月にF G A Pを取得し環境保全型農業や生産工程の管理の安全性確保に努めているほか、平成30年に解散するまで塩田保全会の代表を務め、地域の農村環境保全活動に従事してきた。

大型営農機器の導入や農業用ドローンの導入による農薬散布の実施など、ほ場や作業所における営農作業の効率化を図りながら、自身の所有・賃借する1,550aのほ場において2品目の主食用米及び飼料用米の作付を行い、また地域の担い手として1,500aの作業受託も行うなど、大規模な集積により効率的な農業経営を行っている。

## 個人・団体の部(個人)



平塚 宏さん(77歳)  
小川町塩田

## 青年の部



助川 成光さん(46歳)  
錦町

自身の所有・賃借するほ場において主食用米を706a、飼料用米を482a耕作しているほか、JA福島さくらいわき地区ハウス部会菊田支部の構成員として生産技術の向上及び経営改善に取り組み、60aのハウス施設での土耕栽培にこだわった完熟大玉トマトを「親バカトマト」のブランドで生産している。

うつくしまふくしま農業法人協会の会員として福島県の範囲で各種団体や消費者との交流を行い、地域振興にも積極的に取り組んでいる。

新型コロナウイルス感染症による社会の変化にも柔軟に対応し、トラックによる移動販売の取組を開始するなど、今後も本市農業の中心的な担い手としての活躍が期待される。

平成29年にエコファーマー認定、平成30年にF G A Pを取得し、環境保全型農業や生産工程の管理の安全性確保に努めている。また、いわき農業青年クラブ連絡協議会会員として、地域の農地保全はもとより、都市住民との交流などによる農業への理解促進にも尽力している。

## 貢献の部



株式会社 荒川材木店  
(昭和5年創業)

昭和5年に創業して以来、いわき市の企業として90年以上に渡り良質な丸太を生産し、建築用材等の製材品を供給することで、いわき産の木材を活用した住宅建築等に貢献し、本市林業の振興と発展に寄与している。

いわき市産木材利用推進会議やいわき市持続可能な森林・林業推進会議にも参加し、地元産材の利用促進や持続可能な森林資源の確保に向け、林業・木材産業の振興に大きく貢献している。

本市産木材を用いて建築した同社事務所が平成26年には第18回木材活用コンクールで林野庁長官賞を受賞するなど、本市産木材を用いた建築の魅力発信について多大な貢献を果たしている。

令和3年4月1日から施行されている「いわき市豊かな森づくり・木づかい条例」の策定に貢献したほか、東京2020オリンピック競技大会の選手村建材として本市産の木材を提供するなど、近年特に貢献が著しい。

# 農地流動化情報 Vol.51



農業委員会では、耕作を目的とする農地情報の収集・提供を行っています。売買・貸借等の意向がある方は、是非ご相談ください。

## ◆売りたい

No.	農地の所在地	地目	面積(a)
1	渡辺町松小屋字六反田(2筆)	田	31.42
2	平菅波字東作(1筆)	田	6.71
3	平中平窪字辰ノ口(3筆)	田	18.26

詳細を知りたいという方は、農業委員会事務局までお問い合わせください。

## ◆貸したい

No.	農地の所在地	地目	面積(a)
1	四倉町字町田(3筆)	田	7.90
2	渡辺町昼野字杉沢(3筆)	田	45.93

お問い合わせ 農地調査係 ☎(22)7574

## 農地の無断転用 知らずにやっていますか？



### ○ 手続きをせずに、農地を農地以外の用途に使用するのは違反です。

農地は、食料生産のための限りある資源であるため、農地以外に利用することは法律で規制されています。

必要な手続きを行わずに無断で住宅を建てたり駐車場として使用するなど、農地を耕作できない状態にすることは農地法違反となり、土地の所有者や事業者が是正指導や原状回復命令を受けたり、罰則(※)が科されたりすることがあります。

※ 懲役刑(3年以下)または罰金(個人の場合300万円以下、法人の場合1億円以下)

### ○ 農地を農地以外の用途に使う場合は農地転用の許可または届出が必要です。

自分の所有する農地や、他者の農地を売買または賃借により耕作以外の目的に使用する場合は、事前に農地転用の申請または届出を行う必要があります。

### ○ このようなときは農業委員会にご相談ください。

- ・農地を耕作以外の目的に使用したい。  
例) 駐車場、資材置場、植林、住宅 など
- ・農地の形状を変えて営農しやすくする工事をしたい。  
例) 田として使用していた土地を畑にするため盛土する など



【お問い合わせ】 農地審査係 ☎(22)7578

## 今号の表紙から

毎年12月下旬頃になると、各地でイチゴ狩りが始まります。

いわき市には、有数のイチゴ狩りスポットがあります。今回は平下神谷にある「アグリパークいわき観光いちご園」にお邪魔しました。アグリパークの鯨岡好典さんによると、苗作りはイチゴが盛んに実つて3月から始まるとのこと。昨年作つた親株用にとつておいた子苗を、冬の寒さにあて休眠させ、3月頃に打破させて、ランナーから子苗を4万株作ります。苗作りは大事で、苗半作だと言つておりました。別のハウスで育てられた苗も9月中旬頃には、イチゴ狩りのハウスへ約10日間かけて定植します。11月になると、受粉のためミツバチとマルハナバチをハウス内に放つていて「本当によく働いてくれる」と好典さんは笑いながら話していました。そして12月にはイチゴが実り、赤く色づきます。

取材時も、県内外から沢山のお客様がイチゴ狩りを楽しんでいました。

表紙のご家族にお話を伺いました。「毎年このイチゴ狩りを楽しみにしています。でも、昨年はコロナ禍でイチゴ狩りが出来ず、本当に今日のイチゴ狩りを楽しみにしていました。子供達も、ミルクを付けなくても甘くて美味しい。また食べに來たいと大喜びでした。」

イチゴ狩りは6月上旬まで楽しむことが出来るとのこと。直売所では、お土産パック詰めイチゴや、地方配送も出来るので、皆さま足を運んでみてはいかがでしょうか。

(撮影・執筆 岡村泰典)

## がんばる農業者 あの人この人



たかの やすなり よしえ  
高野 泰成さん(76歳) 芳江さん(63歳)

鹿島町上蔵持

季節毎の野菜の栽培・管理にコンピュータを利用して、積極的に有機農業も取り入れています。

早朝から夕暮れ迄農作業にいそしみ、お風呂上がりには、しなむ鹿児島仕込みのお酒は、明日への活力の素とのこと。

側で微笑む芳江さんの優しい笑顔と健康管理の下で、毎日野菜作りに励む泰成さんです。

今回ご紹介するのは、鹿島町上蔵持にお住いの高野泰成さんです。

高野さんは、鹿児島県の垂水市の果樹農家の二男として生まれ、東京の大学を卒業後、大手電機メーカーに入社され、いわき出身の奥様と結婚し、幹部社員で定年されましたが、幼少より実家で慣れ親しんだ「土の匂い」が忘れ難く、奥様の実家の田・畑の他、近所の遊休農地をかりて、1.5ha程耕作し、今では野菜の数も20種類にも及び、JAの他、「産直市場 田舎んぼ」へ納入しています。

非常に研究熱心で素晴らしい出来ばえの野菜は、納入先は勿論、消費者からも大好評とのこと。



(撮影・執筆 吉田忠夫 農地利用最適化推進委員)

吉田忠夫 農地利用最適

# 令和4年農作業労働賃金標準額

いわき市農業委員会

福島さくら農業協同組はいわき地区本部



この標準額表は、本市の農林業における一般的な作業について、その標準的な金額を定めたものです。受委託にあたり、**当事者間で委託料を協議するための“目安のひとつ”**としてご利用ください。

## 【請負労働作業】

作業名	標準額(円)	単位	摘要	
育 苗	730	1箱	個人育苗硬化まで 配送料は別途、話し合いによる	
耕 起	5,800	10a	ロータリー耕	
	7,000	10a	プラウ耕	
畔 ぬ り	55	1m	散水は別途、話し合いによる	
ブロード キャスター による施肥	500	1肥料1回 /10a		
代 か き	6,700	10a		
田 植	6,500	10a	側条施肥の場合、500円増し。 薬剤等の場合、500円増し。	
防 除	900	10a	薬剤費別	
あ ぜ 草 刈	3,000	1時間	自走式草刈機使用の場合	
バインダー	7,500	10a	ひも込み	
脱 穀	7,500	10a	ハーベスター	
コンバイン	28,000	10a	ワラ結束の場合2,000円増し	
コンバインの内訳	刈り取り	17,000	10a	倒伏の場合は、話し合いによる
	乾 燥	8,000	10a	
	運 搬	3,000	10a	
も み 摺	350	30kg	運搬を除く	
同 時	450	30kg	もみ摺・色彩選別機同時の場合	
色彩選別機	300	30kg	専用持ち込みの場合	
く ず 米	100	30kg	計量と持ち帰りが条件。 放棄する場合は該当しない。	
畑作業 耕 起	5,600	10a	ロータリー耕	
果樹園作 薬剤散布	2,500	10a	スピードスプレーヤ薬剤費別	
トラクターモアによる草刈	7,000	1時間		

## 【雇用労働作業】

作業名	標準額(円)	単 位	摘 要	
水田作業	手 作 業	7,000	8時間(1人1日)	
	機械作業 (機械持参)	10,000	8時間(1人1日)	草刈りなど
畑 作 業	6,700	8時間(1人1日)		
果樹園作業	整枝剪定	10,000	8時間(1人1日)	
	果樹一般作業	7,000	8時間(1人1日)	
山林作業	手 作 業	9,000	8時間(1人1日)	下刈りなど
	機械作業 (機械持参)	12,000	8時間(1人1日)	下刈りなど

## 【備考】

- 特に、次のような場合には、当事者間で十分協議のうえ調整してください。
  - 労働能力(性別・年齢・経験など)、山間部と平坦部、乾田・湿田など農作業に地域差等がある場合
  - 整理田を基準としていますので、未整理田、土壌条件、農道の状況などの差異がある場合
  - この表に記載のない作業を受委託する場合
- 1時間あたりの福島県最低賃金(令和3年10月1日改定)は、828円です。
- 賄い費(食事代)は、含みません。



※農地・農業者年金・農政問題等は  
農業委員および農地利用最適化  
推進委員にご相談下さい。

※課税売上高が1,000万円を超える場合には、請負額に別途消費税が加算されます。

昨今の燃料代の高騰や機械代等を協議し、標準額を変更しました。  
協議の経緯は、いわき市ホームページに掲載していますので、参考としてください。

### 【変更内容】

育苗 (670円→730円) 畔ぬり (50円→55円) もみ摺り (300円→350円)  
同時 (400円→450円) 畑作業 (6,500円→6,700円)



# トピックス



いわき市の伝統野菜のひとつである「さと豆」をご存じでしょうか? 「さと豆」とは、田人町荷路夫地区で栽培されてきた大豆の一種で、茶色とクリーム色のまだら模様が特徴的な、味噌にするととても美味しい品種です。

過日、この「さと豆」の調整作業と味噌作りの親子体験会が、いわき地区生活研究グループ連絡協議会の主催で行われました。参加者は鞘を棒で叩いて豆を出し、選別作業ののち、豆を蒸かして麴と塩を混ぜる、というところまでの一連の作業を体験。天地返しなどのその後の作業は各家庭に任せられ、約半年後には食べられるとのことで、今から楽しみです。

現在では味噌は購入して食べるのが当たり前ですが、昔は各家庭で作られていたはず。「さと豆」が栽培されていた地域でのみ味わわれていたであろう味噌を、今、いただけることの贅沢さを噛み締めながら、その土地で採れた旬のものを食べるという「身土不二」という考え方を改めて見直していきたいと感じた体験会でした。

(写真提供 増田笑氏・執筆 菅野綾)



## 季節の恵み「菜の花」に元気をいただく

今まさに最盛期を迎えている「菜の花」。次々としてくる脇芽の収穫に日々追われています。旬の野菜は「美味しい」「安い」、そして栄養満点。成熟するのに最もよい条件が揃っている時期に収穫される野菜は、栄養価も最も高い状態にあります。そして私たちの体はその季節ごとに必要としている栄養素を旬の野菜はたっぷり供給してくれま

す。今回お邪魔したのは「新舞子ファーム・キダ」の木田テイ子さんの畑です。畑は市内でも比較的暖かな地域にあつて、品種にもよりますが、なんと12月から収穫されているとのこと。種まきの時期を少しずらすことで5月頃まで、「道の駅よつくら港」や「産直市場 田舎んぼ」などの直売所へ出荷しています。菜の花は、花が咲いてしまうと茎が固くなり味も苦くなってしまうので、つぼみが開くギリギリのタイミングを狙って収穫しますが、収穫が間に合わず花が咲いてしまっても、黄色いかわいらしい花は観賞用としても十分楽しむことができます。ぜひみなさんも春の香りを感じる菜の花畑へと出かけてみませんか?

(撮影・執筆 志賀幸)



### 編集後記

はじめにいわき市農林業賞を受賞された方々、おめでとうございます。いわき市の発展と地域貢献へのご尽力が認められ、大変喜ばしく思います。表紙のアグリパークいわき観光いちご園では、いちごをほおぼる子供に心が安らぐ気持ちになりました。他にも新舞子ファーム・キダさんで、菜の花が咲く記事もあり彩り豊かになった今号となりました。記事編集している時期はまだ冬のなかでしたが、編集委員にとっては「まだ寒い時期だけど明るい話題を」と奔走して頂いた結果と感謝されます。

令和4年度の農作業労働賃金の発表もありました。昨年の8月から12月迄の間、農業委員会の定期総会で意見を出し合い、検討を重ねて決定したものです。受委託料の「目安」としてお使い頂きたいと思っております。これから農作業の繁忙期になると思いますが、事故・ケガ等無いように安全作業を心がけてください。(執筆 生田目祥明)

#### 編集委員

蛭田元起編集長・生田目祥明副編集長  
志賀 幸・田子耕一・岡村泰典  
菅野 綾・新妻信夫